

第 3 回佐倉市総合計画審議会 要録

日 時	2019 年 4 月 23 日（火）14 時 00 分～16 時 15 分
場 所	佐倉市役所 1 号館 3 階会議室
出席者	明石委員、佐藤委員（会長）、服部委員、山本委員、橋本委員（副会長）、 坂本委員、石井委員 （欠席）安川委員、淡路委員、遠山委員
事務局	岩井企画政策部長、和田企画政策課長、藤崎、齊藤、東城、児島
その他	株式会社ぎょうせい 木戸
議 題	（1）第 5 次佐倉市総合計画の策定について ① 基本構想 ② 将来都市像 ③ 重点目標 （2）その他
配布資料	資料 13 第 5 次佐倉市基本構想（素案）（案） 資料 14 佐倉市の現況分析と課題のまとめ 資料 15 第 5 次佐倉市総合計画将来都市像（たたき台） 資料 16 第 5 次佐倉市総合計画重点目標（たたき台）
傍聴者	0 人

会長あいさつ

本日は、第 5 次総合計画の基本構想等について、審議会としての共通認識を深め、協議していきたいと思う。

報告事項

・第 2 回審議会において指摘のあった点について、報告を行った。

（1）総合戦略に K P I として設定されている認知症サポーター 2 万人という目標は、高い目標なのか。

（回答）平成 31 年 3 月末現在の佐倉市の認知症サポーターは 19,950 人で、基礎調査で抽出した関東圏の類似都市 23 市中 3 番目となっている。また、認知症サポーターとキャラバンメイトの合計が総人口に占める割合は 11.386%で 23 市中 1 位であり、佐倉市はかなり充実していると考えられる。今後も高齢者人口、特に後期高齢者人口の増加が見込まれることから、対策を立てていきたいと考えている。

(1) 第5次佐倉市総合計画の策定について ① 基本構想

事務局	<p>○資料 13 に基づき説明。その概要は以下のとおり。</p> <p>基本構想素案の概要</p> <p>基本構想は、地域の実情を踏まえながら、SDGs などにも配慮し、市民等との協働によるまちづくりを推進するための指針とすること、12 年間を期間とすることを説明した。</p> <p>佐倉市の現状として、諸指標の説明を行った。特に、財政の見通しについては、市税が長期的には減少が見込まれる一方、インフラ整備等により経費の増加が見込まれることを説明した。</p> <p>社会構造の変化から考えられる行政の主な課題、市民等の佐倉市に対する想いを踏まえ、今後将来都市像を定めること、また、まちづくりの基本方針としては5つの柱として検討を進めていることを報告した。</p>
副会長	<p>財政の見通し（資料 13 P. 15）の歳出について、人件費が 2019 年度から 2031 年度で約 20 億円増加しているのに対して、物件費が約 20 億円減少している。これほどうまく物件費が下がっていくものか疑問である。</p> <p>これに対し、財政調整基金をどんどん取り崩していき、2031 年度にはほとんど残っていないという少し怖い見通しである。人件費をいかに抑制するかなど、財政を安定させる観点も見通しには必要ではないか。</p>
事務局	<p>法改正により、2020 年度から会計年度任用職員を雇用することとなっており、今までよりも人件費はかなり増額になっている。ただ、行政改革に随時取組んでおり、人件費の抑制という観点については、そちらのほうで進めていけたらと思う。</p>
副会長	<p>国の制度改革などで、人件費の増加が見込まれることは理解した。今後、共助で補うなど、人件費の軽減を考えなければ、財政がパンクしてしまうと思う。</p>
会長	<p>この財政の見通しには、働き方改革の影響も見込まれているのか。</p>
事務局	<p>現状のままの職員状況をベースにした推計であり、行政改革の効果などは考慮していない。現在策定を進めている行政改革において、財政の安定化については検討を進めており、財政調整基金がここまで減少することがないよう取組んでいかなければならないと認識している。</p>
委員	<p>AI 導入による人件費の軽減も、見通しには加えていただきたい。</p>
事務局	<p>AI については、どの程度導入可能なのかわからない部分もあり、また導入するとし</p>

	<p>でも初期投資が大きい可能性もあり、現時点では数値的に見通すことは難しいと感じている。まずは、アウトソーシングなどで人件費を削減していく方向で検討していきたい。</p>
委員	<p>AIに任せられるところは任せないと、人件費の負担は重くなっていく。出張所の市民へのサービスなどは今後AIを導入していくなど、検討してもらいたい。</p>
会長	<p>5Gも来年から導入される。多様な技術をどのように活用していけるのか、考えていかなければならない。</p>
委員	<p>総合計画策定の視点として市民との協働があるはずなのに、なぜ財政計画を記載しているのか。財政推計にあわせた計画をつくるとしたら、本末転倒だと思う。</p> <p>社会構造の変化・行政の課題（資料13 P.19）にしても、これまでの行政計画の中のものを取りまとめたもので、市民主体という視点からずれているのではないか。市民等の佐倉市に対する思い（資料13 P.20～21）にあることを主体として、佐倉市をどうしていくのが第一ではないか。</p>
事務局	<p>財政の見通しは、何の対策も講じなければこのように推移していくというもので、いわゆる財政計画とは考えていない。</p> <p>また、社会構造の変化・行政の課題についても、全国的な行政課題を挙げている。市民との協働の視点については、今後、基本計画のほうに多く入ってくるよう検討を進める。</p>
委員	<p>これは行政計画ではないと言っても、市民が見たら、ほとんどの人が行政計画にしか見えないと思う。</p> <p>一番重要なのは、どういう問題があるからこのように解決しますということを示す計画であること。データや資料を並べただけでは問題が見えない。例えば財政の見通しならば、財政上こういうことが問題だと正直に書いて、それを改善していくための方針や対策を書くべきである。</p> <p>「こういうものを守る」と宣言するのが計画のあり方だと思う。そういった観点からどのような計画にするのかを出してくれないと議論になっていかない。</p>
事務局	<p>財政の見通しの表現については、庁内でもさまざまな意見があった。今回の素案の見通しは、問題提起として提示したものである。</p> <p>問題点が不明確というご指摘はもっともであり、財政は確実に苦しくなるということがわかるように説明を加え、策定中の行政改革とも整合をとりながら、記述を工夫したい。</p>
委員	<p>佐倉市は公共施設の運用について先進的な取組をしており、財政にもプラスに作用しているはずである。総合計画というのは、市の個性を明確にするのも重要であり、</p>

	<p>そういうことを書かないと市民が読んでもわからない。抽象的な数字だけの比較ではなくて、市の個性や個別課題についてももっと説明してほしい。</p> <p>また、社会構造の変化・行政の課題は重要だが、現行計画（後期基本計画）ではどこに記載されていたのか。</p>
事務局	P. 18 以降になる。
委員	現行計画は文字が中心で見づらい。こういうところにデータを掲載して、もっと市民にわかりやすくしてほしい。

(1) 第5次佐倉市総合計画の策定について ② 将来都市像

事務局	<p>○資料 14 と資料 15 に基づき説明。その概要は、以下のとおり。</p> <p>佐倉市の現状分析と課題のまとめについて</p> <p>基礎調査や市民意識調査等から見える佐倉市の現状と課題について、分野ごと（人口、産業構造、生活環境・住環境・土地利用等、財政状況、その他）に報告した。</p> <p>第5次佐倉市総合計画将来都市像（たたき台）について</p> <p>事務局案として以下の3案をあげ、それぞれの案に込めた意味や思い、背景等を説明した。</p> <p>（案1） 笑顔輝き 佐倉咲く ～みんなで創ろう「健康・安心・未来都市」～</p> <p>（案2） 歴史 自然 文化 健康のまち佐倉 ～ともに創ろう誰一人取り残さない 持続可能なまち～</p> <p>（案3） とともに創ろう、住みやすさ日本一のまち 佐倉市</p>
副会長	<p>将来都市像の案2をベースにして、自分なりに考えてみた。「歴史 自然 文化 健康やかに生きるまち佐倉 ～みんなでつくろう誰もが笑顔の未来をつむぐまち～」。健康は高齢者だけのことではないので、「健康やかに生きるまち」とすれば子どもたちにもあてはまると思う。私はこの「歴史 自然 文化」というのは残したいと思うが、いずれの案になっても、基本計画で具体的に何をやっていくのかが重要だと思う。</p>
委員	<p>資料 14 の P. 4 に「小売業事業者数・従業者数は減少傾向。年間商品販売額は持ち直し」と書かれているが、地域別にみればかなり違いがあるのではないかと。産業や人口についても、地域差が大きいのではないかと思う。</p> <p>これだけ地域差がある状況で、一律の将来都市像にもとづいた計画がつけられるのかと不安を感じている。この地域差を払拭させるような方向性やイメージが、どこかに組み込めないのかという思いがある。</p> <p>また、将来都市像の案のうち2つに健康という言葉が出てくるが、高齢化や長生き</p>

	<p>が重要な課題になる中、いいフレーズだと思う。これらをミックスさせたものが3案あるので、どれが選ばれてもいいと思う。</p>
事務局	<p>ご指摘の記述について推測するに、市内全体で個別の商店や小売店の販売の業績が改善しているのではなく、寺崎地区にベイシアやカインズなどが出来て、売上が上がったためのものと思われる。</p> <p>また、地域差については、例えば都市マスタープランの中では、市内を3エリアぐらいに分けてそれぞれの方針をうたっており、都市マスタープランも来年度見直しがあるので、調整しながら文言を合わせていこうと考えている。ただ、地域差を払拭できるような将来都市像というのは、今のところ難しいと考えている。</p>
委員	<p>地域差を考慮した計画や、地域の実情に合った個別の事象を計画の中に何らかの形で取り入れられるような仕組みがあるとよいと思う。</p>
事務局	<p>将来都市像の中での地域差への配慮は難しいが、基本計画では、そうしたものが反映できないか、現在検討している。</p>
委員	<p>将来都市像は、ここまで細かく説明をできる言葉でないのだめなのか。言いやすい、口にしやすい、シンプルなものの方が共感しやすいと思う。全部を盛り込んでいくのは難しいので、一番何がしたいのか精査して、「ここをやりましょう」とした方が、みんながついていきやすいのではないかな。その辺りも踏まえて考えていけたらと思う。</p>
委員	<p>他市町村のスローガンやキャッチフレーズなどをインターネットで検索すると、住民やこれから住もうとしている人たちの顔が見えるような、読んですぐわかる短いキャッチフレーズが多いと感じる。佐倉市もそのようなスローガンを、もっと短めにつくってもらえたら、他市町村の人たちが閲覧してもわかりやすいと思う。</p>
委員	<p>将来都市像に何を書くかよりも、具体的な手段が重要である。</p> <p>例えば健康について書くのならば、健康になれる手段や施策について書くべきで、何を入れるかよりも、何のためにやるのか考えることが大事。</p> <p>総合計画なのだから、大きな目標を掲げないとだめだと思う。具体的に何をするかという気持ちがこもったものにしてほしい。</p>
会長	<p>例えば認知症サポーターの取組が進んでいるのであれば、それを強く推したものにしてもよい。</p>
委員	<p>まちづくりの基本方針に5つの柱が挙げられているが、これはどこからきたものなのか。社会構造の変化・行政の課題と整合がとれているのか。</p>
事務局	<p>本日のご意見を踏まえ、基本構想のたたき台については、もう一度精査したい。</p>

	<p>将来都市像のたたき台についても、新市長とも相談し、我々が今後12年間で何をしたいかというような気持ちを込めてシンプルに表現できるものに再検討したいと思う。</p>
委員	<p>将来都市像の案1のところに「未来都市」とあるが、これは非常にいいと思う。これをもとにした計画を実現していけば、全国に先駆けたまちになるのではないかな。</p> <p>佐倉市は住みやすい住宅都市である。住宅都市宣言をしながら、こんなよい住環境の中でいかに雇用をつくっていくということを、「未来都市」という観点の中でもっと深堀していくとよいのではないかな。</p> <p>「佐倉咲く」もいいフレーズである。17万人都市で何をすれば合格ラインか示してもらえると、総合計画がもっともっと生き生きすると思う。</p> <p>服部委員と共通して思うのは、このたたき台では断片的で繋がりが見えないのが残念だと思う。</p>
委員	<p>歳入が増えないとだめだと思うので、子育て世代をいかにたくさん入れるかという観点が重要だと思う。</p> <p>今までいただいた資料等を見る中で、市は現場サイドの実際の声を知っているのか疑問に思った。私が知っているようなまちの問題点や解決策が記載されていない。今後提示される基本計画の中に、現行計画の取組を見直したうえで、新しい構想を練っているのか不安に思う。</p>
会長	<p>市民の色々なご意見は、当然見直しの際には参考にしていると思う。ただ、市民のご意見といっても、細かいところまでアンケートは取れないので、一部のご意見にはなっている部分はあると思う。</p>
副会長	<p>佐倉市の現況分析と課題のまとめ（資料14）で産業構造に触れているが、基本計画ではぜひ第1次産業、第2次産業を伸ばす策を入れてほしい。個人的な意見になるが、第1次産業、第2次産業が元気でないとまちが元気になっていかない。</p>
委員	<p>ご指摘は正論だと思うが、私は佐倉市では第1次産業、第2次産業が発達するとは思えない。ちばりサーチパークのような工業団地も参入が十分ではなかったと思う。</p> <p>それよりも住宅都市であることを基本に考えたうえで産業を発達させることを考えるべきで、例えばリフォーム産業や運送業、家具の流通業など、住宅に関する産業であれば発達すると考えている。</p>
事務局	<p>ちばりサーチパークについては、現在佐倉市側の土地には空きがない状況である。ただ、メガソーラー施設による暫定利用をしている土地があり、ここについては、状況によっては売却をする見込みだと聞いている。</p> <p>また、製造業のみを対象としていては厳しいため、データセンターのような第3次産業も視野にする必要があるという話も出てきており、都市計画においても、流通業</p>

委員	<p>等だけではなくデータセンター的なものも許容することを検討していると聞いている。</p> <p>市民参画も考える計画としての、第1次産業、第2次産業のような大きな話ではなくて、商業者、農業者などが将来都市像にどういった手法で向かっていけるかというような、まち・ひと・しごと創生総合戦略のような書き方ができないかと思う。行政計画としての側面はそれとして進めていただきながら、市民の計画としての記載も充実させていただきたい。</p>
事務局	<p>例えば、市内のある青年実業家の方がいちごのハウスの建設を希望しており、いちごの産業と観光を結び付けるという話も進んでいる。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中では、そうした個別の市民の取組を支援するような内容も記載しており、総合計画の中でもそうした書き方は必要であると認識している。</p>

(1) 第5次佐倉市総合計画の策定について ③ 重点目標

事務局	<p>○資料16に基づき説明。その概要は以下のとおり。</p> <p>重点目標（たたき台）について</p> <p>基礎調査等から見えた市の課題などを踏まえ、まちづくりの基本方針の下に位置づけられる基本施策に横串を刺す形で、4つの重点目標を位置づける案を説明した。4つの重点目標案は、以下のとおり。</p> <p>重点目標1 市民協働の加速化、持続可能なまちづくり 重点目標2 健康寿命の延伸・生きがいづくり 重点目標3 子育て世代の流入・定住促進、子育て支援施策等の維持拡充 重点目標4 交通環境の整備推進、公共施設等の長寿命化等</p>
委員	<p>現行計画でいうと、重点目標はどこに位置づけられるべきものか。</p>
事務局	<p>現行計画においては、重点施策（総合戦略施策）が記載されているP.32からになる。</p>
委員	<p>現行計画の体系（P.27）は変わらないのか。</p>
事務局	<p>現行計画では基本方針を6つとしていたが、今回のまちづくりの基本方針（資料13 P.23）では5つにする案を、本日提示している。</p>
委員	<p>計画の全体像が見えてこない。最初に全体の輪郭を示していただいた後、審議した</p>

	い。重点目標の中身は特に問題ない。
事務局	次回には、全体像、基本計画も含めたものを、イメージだけでも提示したい。
委員	新市長のマニフェストを配ってほしい。
事務局	後程配布する。
委員	基本施策と重点目標はどちらが上位になるのか。
事務局	重点目標であり、基本計画の各施策の体系に、分野横断的な重点目標を掲げるという考え方である。
委員	基本施策と同列になるのか。それともまちづくりの基本方針と同列になるのか。
事務局	まちづくりの基本方針と基本施策の間に入るようなイメージを持ってもらえたらと思う。基本施策はそれぞれの幅広い行政の分野をカバーしており、それぞれの分野で力を入れていく中で、特に重点的に取り組む4つの目標を位置づけるものである。
委員	まち・ひと・しごと創生総合戦略や都市マスタープラン、市の個別の計画の相互関係の構図がわかるといい。
事務局	例えば、資料13の「福祉・健康・子育て」(P.23)の中には地域福祉計画や子ども子育て支援事業計画、健康増進計画等の内容が入っており、また「都市基盤・住環境」の中に都市マスタープランや住生活基本計画や環境基本計画等、「産業振興」の中に産業振興ビジョン等、様々な個別の計画がある。
委員	全体を概要みたいなものにして示してほしい。上位なのか下位なのかを明確に分けてくれると発言しやすくなる。
事務局	次回提示する。 (新市長のマニフェストを配布)
会長	こういうマニフェストがあるということで、よく読み取っていただき、特色のあるものがあれば次回議論に加えていただければありがたい。

以上